



高田陽子【絵描き】

1987年～漫画家になりたいと思いノートを大量に無駄にする
アニメ・漫画にのめり込む（現在進行形）
1990年～本屋に入り浸り、雑誌や漫画立ち読みを趣味にする
琴似のくすみ書房をはじめ本屋ストリートで漫画を
買い漁る（北海道を離れるまで）
発寒河畔公園が好きでよく自転車で通う（心の平安）
1995年 無謀にも札幌市立高専を受験しあえ無く撃沈
それでも絵の道に進みたいと思うようになる
人との距離感が掴めなくて苦労する（現在少しはまし
になったと思う。。。）東西線の定期券があつたので、
大通のなにわ書房にちょくちょく通う（オタク活動）
1998年 志望校に落ち、1浪目 造美（北海道造形美術学院）で
の予備校生活が楽しすぎた（円山公園が好きになる）
1999年 東北芸術工科大学に入学（兄も一緒に合格したので
一緒に住むことになる）日本画はスケッチ旅行三昧
2000年 2年生になる前の春休み、沖縄県の西表島で約2ヶ月
住み込みアルバイトをする。この経験から今後の進路
が大きく変わることになる
青春 18切符を利用してよく一人旅に出かける。
2001年 バイクの免許をとり北海道ユースホステルの旅をする
2003年 大学院受験に落ち、沖縄県立芸術大学研究生になる
2004年 沖縄県立芸術大学大学院に入学
小トラブルメーカーとして悪名を轟かす（笑）
2006年 大学院終了後も沖縄で制作活動したいともがく
2007年 ふるさとの風景展 入選 自転車にハマる
2008年 DTP制作アシスタントとしてパート生活始まる
(人間関係良好で現在写真のレタッチャーとして就労)
日本芸術センター第2回絵画公募展 入選
2009年 北の大地ビエンナーレ入選/臥龍桜日本画大賞展 入選
内地の公募展は落選後のダメージが半端ないので公募
展に出すのを控えるようになるが制作は続ける
2011年 東北のために何もできなかつたと悔やむ（現在も）
2016年 宜野湾市に引越し、愛猫チャペと出会い家に出迎える
2018年 芸工大アートウォーク 2018に公募し、銀座K'sギャ
ラリーにて初個展開催 以後「ART-LINKS 2019」など
展示に参加させてもらう様になる（感謝）
その後ギャラリー門馬 ANNEX（札幌）、古書の店言事堂
(那覇) で個展開催
2020年 浦添市rat&sheepにて個展（コロナ禍で期間延長）
以後 2024年まで毎年個展をさせてもらう
コロナの影響で仕事がリモートワークになり、より家
に引きこもれるので絵画の制作がしやすくなる（現在
進行形）庭の草、木、土、菌、虫に元気をもらお
2021年 パネルに絵を描くのがいやになり、支持体から自分で
作れないか試行錯誤する。中国語を習い始める。
2025年 日本画？であるが独自の表現、試行錯誤を継続中

1979年に生誕

1985年 ブラザ合意
1986年 バブル景気始まる
1987年 国鉄分割民営化
1989年 平成に改元
三菱地所、ロックフェラーグループ
社の株式51%を約1200億円で買収
1991年 バブル景気崩壊する
1993年 Jリーグ開幕
1995年 阪神・淡路大震災 発災
オウム真理教事件
Windows 95の発売
1997年 山一証券・拓銀 経営破たん
1998年 戦後最悪の完全失業率
郵便番号が3桁から7桁に

予備校 1999年 過去最悪の完全失業率 更新
・大学時代 2000年 雪印、三菱自動車 企業不祥事
2001年 アメリカ同時多発テロ 9.11
ITバブル崩壊
BSデジタルテレビ放送が放送開始
2002年 日韓ワールドカップ開催
2003年 SARS流行 株価バブル後最安値
2005年 郵政民営化選挙
マンションの耐震偽装問題
2007年 食品偽造問題
2008年 iPhone発売開始
リーマン・ショック
2009年 新型インフルエンザ(H1N1)の流行
2010年 日本航空破綻 円高1ドル82円
2011年 東日本大震災 発災
2013年 アベノミクス 異次元の金融緩和
2016年マイナンバー制度運用開始
18歳選挙権施行
2018年 はたらき方改革
2019年 令和に改元
2020年 新型コロナウイルス感染症
(COVID-19)の流行
2022年 民法改正で成人年齢が
20歳から18歳に引き下げ
2024年 能登半島地震 発災

2025年二人展開催

渡部陽平【彫刻家】

1996年 地理の資料集のロバートキャバと沢田教一の写真に
魅了され報道写真家を志す。
1997年 高校三年生で美術大学で写真を勉強する為に（当時
好きな子が美大に行くというのが本当の理由）
北海道造形美術学院（美術予備校）に通い始める
兄の進めで彫刻科に転向 彫刻と出会う
1998年 志望大学に落ち、1浪目
1999年 志望大学に落ち、2浪目
2000年 志望大学に落ち、唯一の滑り止めで合格した東北
芸術工科大学彫刻コース入学 越後妻有トリエン
ナーレで川俣正のボランティアスタッフに入り以後
1年間ほど川俣正のワークショップにのめり込む。
2001年 二年生 各種素材実習で鉄が好きで作品制作
2002年 三年生 鉄板という素材の不自由を感じ 石彫を
制作開始 恩師前田耕成に石彫の基礎を教えて頂く
枕崎「風の芸術展」入選 あさご芸術の森大賞展入選
2003年 四年生 大学卒業制作展実行委員会委員長
大学の卒業制作展の大改革に奔走する 二科展落選
2004年 卒業後同大学院進学 春から卒業制作後の燃え尽き
症候群に苦しむ 二科展入選（2009年まで）
2005年 院二年 インドのバラナシのシンポジウムに参加
2006年 大学院修了後 昼は同大学彫刻研究室でTAとして
アルバイト 生活費のため夜は居酒屋でアルバイト
2007年 山形での生活八年目で同じ場所の生活の不安と社会
に生き詰りを感じる
2008年 東京移住、すいどーばた美術学院（大手美術予備校）
で教務契約社員として働く
2010年 東京から、地元北海道に帰郷、南幌町にアトリエ建設
をDIYで着手 ギャラリーESSEで個展
2011年 ハルカヤマ芸術要塞2011（野外展）参加
タクシー運転手として働き始める
2013年 ハルカヤマ芸術要塞2013
2014年 タクシー運転手退職 仕事を転々とする
2015年 ハルカヤマ芸術要塞2015
養豚場の設備工事の仕事を始める
2017年 ハルカヤマ芸術要塞2017
レバテアーティストレジデンス 2017
2018年 個展
2019年 赤井川村 道の駅の馬の原型制作
養豚場の設備の仕事を辞める
2020年 個展 コロナ渦に自分の制作と仕事を見つめる
2021年 鬱々としていた石彫制作から原型制作中心の制作
にシフト ハウスクリーニング業を開始